

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月15日作成)

小委員会名	基礎構造部材の強度・変形性能小委員会	主 査 名：土方勝一郎 就任年月：2020年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (直属)	委員長名：塩原 等
設 置 期 間	2019年4月 ～ 2022年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>基礎構造部材の最新の知見・データを収集・分析を行い、成果物を「基礎部材の強度と変形性能」として刊行する。「建築基礎構造設計指針」および「鉄筋コンクリート基礎構造部材耐震設計指針 (案)・同解説」を補足・追加する。</p> <p>初年度：最新の知見・データの収集・分析および原稿の執筆 2年度：運営委員会、本委員会の査読対応、脱稿 3年度：刊行、講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：土方勝一郎(芝浦工業大学) 幹事：河野進(東京工業大学)、金子治(広島工業大学)、小室努(大成建設)、 委員：田村修次(東京工業大学)、小林勝巳(フジタ)、木村祥裕(東北大学)、 岸田慎司(芝浦工業大学)、井川望(東北学院大学)、飯塚正義(プレハブ建築協会)、 浅井陽一(トーヨーアサノ(COPITA))、今井康幸(丸五基礎(耐震杭協会))、 廣瀬智治(クボタ(鋼管杭・鋼矢板協会))、渡辺一弘(日本総合住生活)</p>	
設置WG (WG名：目的)	<p>RC 基礎構造部材性能検討 WG： 場所打ち RC 杭，パイルキャップ他の基礎構造部材の検討と担当の章の執筆</p> <p>既製コンクリート杭性能検討 WG： 既製コンクリート杭 (PHC 杭・PRC 杭，SC 杭) の検討と担当の章の執筆</p> <p>場所打ち鋼管コンクリート杭性能検討 WG： 場所打ち鋼管コンクリート杭のデータ収集・分析と担当の章の執筆</p> <p>鋼管杭性能検討 WG： 鋼管杭のデータ収集・分析と担当の章の執筆</p>	
2020年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 運営委員会および本委員会の査読対応を計画通り実施した
委員会活動の問題点・課題	1. 講習会実施方法の検討